

第八十一回 帝國議會  
衆議院

臨時利得稅法中改正法律案外十一件委員會議錄(速記)第五回

昭和十八年二月五日(金曜日)午前十時二十  
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松村 光三君

理事川崎巳之太郎君 理事小泉 純也君

理事河野 密君 理事永野 護君

理事藤本 捨助君 理事三木 武夫君

有馬 英治君 小野 秀一君 木村 義一君

九鬼 紋七君 中村 三之丞君 坂本 宗太郎君

田中勝之助君 原口 純允君 一松 定吉君

橋本 祐幸君 前田 善治君

松永 壽雄君

山中 義貞君

出席國務大臣左ノ如シ

出席國務大臣左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主稅局長 池田 秀人君

大藏書記官 賀屋 興宣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	大藏書記官 平田敬一郎君
專賣局長官 木内 四郎君	
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)	
酒稅法中改正法律案(政府提出)	
酒造組合法中改正法律案(政府提出)	
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)	
取引所稅法中改正法律案(政府提出)	
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	
物品稅法中改正法律案(政府提出)	
遊興飲食稅法中改正法律案(政府提出)	
入場稅法中改正法律案(政府提出)	
特別行爲稅法(政府提出)	
提出)	

○藤本委員 私ハ戰爭財政ノ根本問題ニ付 キマシテ、大藏大臣ニ二、三御尋ネ致シタ イト思ヒマスガ、豫算總會ニ御出マシノ趣 キ只今拜承致シマシタ、御急ギノヤウニモ存ジ マスルカラ極メテ簡単ニ、又簡単ナ御答辯ガ 承レバ結構デゴザイマス、其ノ第一ハ昭和 十八年度ニ於ケル國民所得ニ付テアリマス ガ、此ノ件ニ付キマシテハ既ニ豫算總會 ニ於テ、大體昭和十八年度ノ國民所得ハ五 百億ダト御推定ニ相成ツテ居ラレルノデア リマス、昭和十七年度ノ國民所得ニ比シマ スレバ約五十億ノ増加デアリマスガ、是ハ戰 時下戦力增强ノ急務ノ今日、稅ノ負擔モ公 債ノ消化モ一一懸ツテ國民所得ニアリマス ル關係上、洵ニ國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイ	藤本君
--	-----

付託議案 提出)第一〇號 臨時利得稅法中改正法律案(政府 提出)第一一號 酒府稅法中改正法律案(政府 提出)第一一號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一四號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一六號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一七號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一八號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一九號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第二二號 游興飲食稅法中改正法律案(政府 提出)第二號 輸出スル物品ニ對スル内國稅免除 又ハ交付ノ停止等ニ關スル 法律案(政府提出) 特別行爲稅法(政府提出) 輸出スル物品ニ對スル内國稅免除 又ハ交付ノ停止等ニ關スル 法律案(政府提出) 特別行爲稅法(政府提出) 輸出スル物品ニ對スル内國稅免除 又ハ交付ノ停止等ニ關スル 法律案(政府提出)	付託議案 提出)第一〇號 臨時利得稅法中改正法律案(政府 提出)第一一號 酒府稅法中改正法律案(政府 提出)第一一號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一四號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一六號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一七號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一八號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第一九號 酒稅法中改正法律案(政府 提出)第二二號 游興飲食稅法中改正法律案(政府 提出)第二號 輸出スル物品ニ對スル内國稅免除 又ハ交付ノ停止等ニ關スル 法律案(政府提出) 特別行爲稅法(政府提出) 輸出スル物品ニ對スル内國稅免除 又ハ交付ノ停止等ニ關スル 法律案(政府提出) 特別行爲稅法(政府提出) 輸出スル物品ニ對スル内國稅免除 又ハ交付ノ停止等ニ關スル 法律案(政府提出)
--	--

ノ不安心ナキヲ得ナインデアリマス、一應此ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイノデアリマス  
○賀屋國務大臣 日本ノ經濟力ニ付キマシ  
テ色々ノ考へ方モ出來ルト思ヒマス、只今  
ハ藤本君モ國ヲ憂ヘラレルノ餘リ、所謂悲  
觀的ノ方面ヲ數ヘテ御示シニナツタ、其ノ  
點ハ洵ニ其ノ通りデアリマス、一方カラ申  
シマスト、非常ニ希望ノアル——希望デハ  
ナク現實ニ良イ面ガ澤山アリマス、戰爭デ  
アリマスカラ無論消耗ハアリマスガ、現在  
マデノ大局ヘ支那事變以來、日本ノ國力ハ  
非常ナル増加ヲ致シテ居ルト思ヒマス、生  
産擴充資金モ、設備ノ擴充ニ支那事變以來  
三百億圓以上ヲ投ジテ居リマス、是ハ支那  
事變以前ニハ年ニ十億トカ十五億ト云フ程  
度ノモノデアリマシタモノガ、一躍今申上  
ゲタヤウナ風ニ進ンデ居リマス、而モ支那  
事變以前ニ於キマシテハ、多クハ平和產業ニ  
投下サレタモノガ相當大キナモノヲ占メテ  
居リマスガ、只今ハ生產力ノ增强ガ戰時產  
業ニ向ケラレテ居リマスルシ、又支那事變  
以來ノ資本ノ投下ハ皆其ノ面ニ向ツテ居リ  
マス、是ハ非常ナル力ノ增强デゴザイマス、  
細カク申上ゲレバ其ノ中ニモ完全ニ動イテ  
居ナイ設備モアリマスガ、全部ガ戰力增强  
ノ目的ニ向ツテ計畫サレツツアルノデアリ  
マス、平時ノ同ジ金額ヨリハ戰力增强ニハ  
餘程役立ツテ居リマス、設備ノ面ガサウデ  
アリマス、人口ノ面ニナリマスルト、是ハ  
色々悲觀的ノコトモ考ヘラレマスル  
ガ、支那事變以來、日本ノ戰爭ニ依ル人  
口消耗ト云フモノハ世界ノ何レノ大戰ノ場  
合ニ比ベマシテモ極メテ小ナルモノデアリ  
ル、其ノ上ニ海外各地、其榮圈内各地ノ人口

——能率ハ日本内地ノ人間程上ラヌニシムテ一  
シテモ、相當ナ協力體制デ、日本デ使ヒマ  
ス製鐵原料ノ石炭ハ北支ノ人ガ現ニ掘ツテ  
居ルノデアリマス、海南島ノ鐵礦石モサウ  
デアリマス、南方ノ石油ニ付テモ南方ノ住  
民ガ効イテ居ル譯デアリマス、人口資源ト  
云フ點ニ付キマシテ戰時ニ最モ消耗ノ少い  
國デアツテ、而モ新タニ人口給源ヲ全體ノ  
戰力カラ見テ獲得シテ居ル狀態デアリマ  
ス、天然資源ハドウカト云フト、日本ハ支  
那事變前ニ於キマシテハ、純經濟的及ビ戰  
爭ニ依ル交通ノ障碍、軍事的ノ關係ナドモ  
入レマスト、確實ニ日本ガ掌握シテ居ツタ  
モノハ日本ト滿洲ダケデアツタ、ソレガ支  
那ノ大キナ部分、殊ニ東洋一ノ炭田、質ニ  
於テモ量ニ於テモ又品種ノ重要ナモノガ多  
數アリマス點ニ於テモ、東洋一デアリマス  
ル北支ノ炭田モ完全ナル自給圈内ニ入り、  
海南島ノ鐵鑛石モ入り、南方ノ石油、錫「ゴ  
ム」其ノ他モ入ル、天然資源ニ於テハ非常  
ナル増加デ、寧ロ之ヲ完全ニ利用スル設備  
ノ方ガ足リナイト云フ程大キナ力デアリマ  
ス、資源、勞力、設備ト云フモノガ飛躍的  
ノ大發展ヲ遂ゲテ居ル、戰爭ニ於テ消耗ス  
ルト云フノハ、是ハ敵ノ武力ニ依リマシテ  
生產設備ヲ破壊サレル、生產設備ノアル土  
地ヲ奪取サレタリ、又天然資源ノアル所ヲ  
奪取サレタリ、多數ノ、何十万、何百万ノ  
捕虜ヲ出ス、或ハ戰死者ヲ出スコトデスガ、  
私ハ非常ナ飛躍的ノ增加デアルト思フ、他  
ノ問題ヘ、世界一ノサウ云フ力ヲ誇ル「アメ  
リカ」ヲ相手ニシテ居ル、又「イギリズ」老  
イタリト雖モ相當經濟力ヲ持ツテ居リマス、

カラ、隨ヒマシテ資金計畫ヲ承ルコトハ困難カト存ジマスケレドモ、國民所得ガ其ノ基盤ニナツテ居ルト云フコトカラモ大體推定ガ付クノデアリマスシ、且又此ノ資金計畫ヲ承リマシテ、國家財政資金ガ幾ラ、或ハ生産擴充資金ガ幾ラト云フコトガ判明致サヌ限り、只今問題ノ増稅ノ可否或ハ公債發行、或ハ國民貯蓄ト云フコトニ付キマシテモ檢討シ兼ネルノデアリマスノデ、一應只今御答ヘニクイカモ知レマセヌガ、御差支ヘノナイ程度デ御示シ願ヒタイト思ヒマス

ノコトニ致シマス、第三ニ御存ジノ通り從來  
戦爭財政ニ於テハ、一ニモ貨幣ニモ貨  
幣、三ニモ貨幣、而シテ貨幣ハ戦争ノ神經  
デアルト言ハレテ居リマシタノデ、既往ニ  
於キマスル戦争財政ノ任務ハ戦費ヲ支辨ス  
ル貨幣ノ調達ニ終始致シテ居ツタノデアリ  
マスガ、近代戦争へ國家總力戦トナリ、國家  
ノ總力ヲ擧ゲテ輸贏ヲ決スルト云フコトニ  
ナリマシタノデ、非常ナ大消耗戦ニナリ、隨  
ヒマシテ從來ノ如キ戦争財政ノ本質ガ貨幣  
ノ調達ニ終始スルト云フノミデハ足ラヌヤ  
ウニナリマシテ、茲ニ新シキ理念ガ生起シ、  
戦費ノ負擔ヲ稅ト公債ヲ以テスルコトニハ  
變リアリマセケレドモ、戦争財政ノ任務  
ハ戦費負擔ノ貨幣ヲ調達ヲ致ス外ニ國家ノ  
經濟力ヲ指導致ス、換言致シマスルナラバ、  
戦争財政ヲ以テ國家經濟ノ生產的任務ヲ遂  
行致スト云フコトニナツタノデアリマス、  
隨ヒマシテ私ノ御尋ネ致シタイト思ヒマス  
ルコトハ、日夜藏相ノ御配慮下サツテ居ル  
チシテ居ルカドウカ、更ニ端的ニ申シマ  
スレバ、是ダケノ増稅ヲ以テシテ、或ハ臨  
時租稅措置法ニ於キマスル、アノ措置ヲ以  
テシテ、此ノ戰時下ノ要請スル經濟力ノ指  
導、或ハ財政ノ生產的使命ニ對シマシテ、  
即應シテ居ルノカドウカト云フコトデアリ  
イタノデアリマス、併シ現在ノ如ク相成リ  
マス

マシテハ國際的ニモ、國內的ニモ唯金サヘ  
アレバドウニデモナルト云フヤウナ——到底  
サウ云フ狀態デナク、他ノ物ヲ離レマシテ金  
バカリヲ考ヘテ居ルヤウナ政策ガ破綻ヲ示  
シマスコト、又他ノ物ヲ考ヘナガラモ金ニ  
ノミ賴ラナケレバナラヌト云フ政策ガ破綻  
ヲ來シマスコトハ、過グル歐洲戰爭ニ於ケ  
ル各國ノ例ヲ見テモ當然ナノデアリマス、  
現在ノ戰爭ニ於キマシテハ物的方面ハ所要  
ノ場所デ所要ノ時ニ所要ノ物資ガアルト云  
フコトデアル、細カク申上ゲマシテ「アメ  
リカ」ノハ「アリューシヤン」ニ使ヘルガ「ゾ  
ロモン」ニハ使ヘナイト云「物的戰力」ハ  
是ハ非常ナ條件付デ考ヘナケレバナラヌ、  
所要ノ場所ニ所要ノ時ニハ所要ノ物ガ要ル、  
ソコデ戰爭スル、ソコデ軍艦ガ要ル、爆彈ガ  
要ル、大砲ガ要ル、彈ガ要ル、其ノ時ニ其  
處ニ間ニ合ハナケレバ、間ニ合ツテモ何ニモ  
ナラヌ譯デアル、其ノ位ニ總テ精密デアリ  
マスカラ、又ソレガ戰爭ノ狀況ニ依ツテ非  
常ニ變化ガアルカラ、其ノ變化ニ應ズルヤウ  
ナ狀態ノ下ニ考ヘナケレバナラヌ、總量ノ  
ミナラズ物ノ質、種類、ソレニ機動力、運  
輸、斯ウ云フヤウナモノモ皆綜合的ナモノ  
ニナツテ來ル、金ノ方面カラ參リマスト、何  
トシテモソレヲ——人ノ物ヲ只取ツテ來ル  
ト云フ體制ハナイ、必ズ金デ買ツテ來ルト  
云フ體制デアリマス、斯カル戰時ニ必要チ  
物資、是ハ武器彈藥其ノ外ノ軍需品、輸送設  
備、國民ノ最少限度ノ生活、斯ウ云フヤウ  
ナモノガ所要ノ目的ヲ達スルヤウニ金ノ面  
マル譯デアリマス、常ニ背面ニソレヲ考ヘ  
テ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ觀點カラ

ドウシテモ先づ政府が使フ積リデ軍備其ノ  
コトハ、是ハ昔カラモ共通デ同様デアリマス  
ガ、其ノ出來ル限度ト云フモノハ物資ノ獲  
得力ヲ全然除外シマシテ、唯金ダケアレバ  
物ガ集マルト云フヤウナ觀點カラハ豫算ノ  
編成ハ到底出來マセヌ、ソコモニハ物資、勞力  
其ノ他ト調和ヲ得タ綜合計畫ノ下ニ財政ガ  
組マレナケレバナラスト云フ點ガ此處ニ出  
テ居ルノデス、又サウ致シマセヌト單純ニ  
金ガ物ヲ購買シ得ルト云フ形ニノミ四ハレ  
テ豫算ヲ増シマシテモ、現實ノ購買物ガナ  
イ、購買サレル相手ガアリマセヌデハ何ニ  
モナリマセヌ、ソレデハ是ハマルデ紙ミタ  
イナモノデアル、ソレガ其ノ他ヲ最モ考ヘ  
テ行カナケレバナラヌ一ツデアリマス、第  
二ハ斯カル資金ガ健全ナ方法デ調達セラレ  
ナケレバナラヌ、假リニ前世界大戰ノヤ  
ウニ中央銀行ノ貸上金デアリマストカ、  
短期ノ大藏證券ノ發行デアルトカ、マルデ  
通貨ノ性能ノ形態ヲ以ツテ出來マシタ場合  
ニハ、一應形ダケハ財政當識デハ出來マス  
ルガ、反面ニ國民ノ間ニ國民生活ノ消費ニ  
充テル以上ノ購買力ヲ非常ニ多額ニ見越シ  
テ居リマス、ドウシテモ今ノ多額ノ購買力  
ヲ吸收シテ、ソレフ政府資金ニ充テルト云  
フ方策デナケレバイカヌ、ソレデ此ノ方策  
ヲ執ル爲ニハ、國家ノ直接ニ需要致シマスル  
政府資金ト云フモノガ大體租稅及ビ國民貯  
蓄ノ蓄積ニ依ツテ出來ナケレバナラヌ、斯  
ウ云フコトニナリマスレバ、是ハ大體ニ背  
後ニ物資ノ裏付ケガナイトイケナイ、サウ  
シテ其ノ方策ヲ執ツテ居リマスカラ、ソレ  
デ是ガ國民生活、戰時生活ノ大體ノ大キナ  
指導ニナツテ居ル、詰リ貯蓄完遂計畫ト云

正指導シテ居ル、ソレガ今戰力調達ニ必要生活其ノモノヲ一番大キナ見地カラ是ガ規ナル財政資金デアル、別ノ言葉デ申セバ、只今ノ生産ト云フモノハ政府需要、特ニ軍需需要ノ生産ガ多イノデアリマス、而モ其ノ生産ニ依ツテ拂ハレル對價ト云フモノハ國民ノ懷ロニ入りリマス、入ツタ中デ昭和十七年度デ申上ゲレバ、三分ノ一シカ國民ガ使ツテハナラヌ、ソレ以上使ヘバ使ヒ過ギニナル、其ノ三分ノ二ヲ所謂政府需要ニ還元シナケレバナラヌ、是ガ一番財政ノ大キナ經濟指導デアリマス、其ノ方針ニ即應シテヤツテ居リマス、今年モ無論ソレデ行ク譯デアリマス、尙ホ追々申上ゲマスルガ、段々日本ガ外地ト言ヒマスカ、其榮園内ノ日本國內以外ニ力ヲ使ツテ行ク、使ツテ行クト云フト語弊ガアリマスガ、彼等ガ共同ノ戰爭ノ目的ノ爲ニ、共同ニ力ヲ合ハセテ行カウト云フ段階ニ配置サレル、是ハ共榮園ノ眞ノ協力觀念デアリマスガ、財政ノ上ニモ段々ニサウ云フ相貌ガ又一方ニ現ハレテ居ル、是ガ共榮園經濟ト共榮園財政ト云フモノノ一つノ指導理念ニナツテ來ルト思ヒマス、ソレガ大局デアリマス、其ノ内容ニ至ヅテハ色々今御話ガアリマシタヤウニ、同ジ稅ヲ取りマスノデモ、ソレガ生産力ノ障碍ニナラナイヤウニ、出來レバ助長スルヤウニ、又物價政策、生産増強ノ調和點トシマシテ基本的物資ニヘ低物價ト申シマスガ、實ハ是ヘ正確ニ言ヘバ一定水準ノ維持ト云フコトデアリマスルガ、其ノ爲ニハ相當ノ努力ヲ要ス、サウ云フコトヘ財政全體カラ見マスルト部分的施策デアリマスルガ、ソレヲ各種ノ補助費デアリマストカ、

助長費アリマストカ、是ハ造船ニモヤツテ居リマス、鐵ノ回収ニモヤツテ居リマス、ソレカラ製鐵、ソレカラ米、肥料、斯ウ云フ面ニソレガ出テ居リマス、ソレカラ又はハ今相當ニ金額ガ多ク出マスガ、實ハ「ペークンテージ」ハサウ多クナイノデアリマシテ、所謂餘リニ採算ニ拘泥シナイデ進マナケレバナラヌ、國策會社的ナルモノノ趣旨ガ斯ウ云フ面ニ出テ居リマスガ、サウ云フ面ハ其ノ時其ノ時ノ必要ニ應ジテヤル面デアリマス、前段ニ申上ゲマシクコトガ一番大キナ戰爭財政ガ戰爭經濟ニ對スル施策ト相成ル譯テゴザイマス

○藤本委員 御答辯洵ニ有難イト思ヒマスガ、私ノ只今御尋ネシタ理由ハ、現下各方面ニ於テ惡性「インフレーション」ガ憂慮サレテ居ルカラデアリマス、是ハ申スマデモナク物ト金トノ「アンバランス」ヨリ生ジマスノデ、折角戰時財政ヤ或ハ國民所得ニ此ノ上御配意戴キマシテモ、之ニ必要ナル勞力、資材ト云フモノガ「マッチ」シナケレバ、茲ニ惡性「インフレーション」ガ不可避ノ現象ニナリマスノデ、御尋ネ致シタノデアリマス、更ニ此ノ觀點カラ致シマシテ御尋ね致シタインデアリマスガ、今次ノ增稅ノ特異性ト申シマスカ、是ハ臨時利得稅法ニ一部改正ヲ加ヘマシテ、法人ノ基準利益率ヲ廢止シタ以外ニ、直接稅ニハ觸レズ、主トシテ間接稅ノ増徵ニ終始シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ何故ニ直接稅ノ方ヲヤラナカツタカト云フコトニ付キマシテ、既ニ同僚議員ヨリモ御質疑ガアリ、又直接稅ヲ見送ツタト云フコトニ付テノ理由ニ付キマシテモ既ニ御示シガアリマシタ、ソレハ能

ク論議致シマスか、尙ほ只今申述ヘマシタ  
ヤウナ觀點カラ致シマシテ、二、三ノ理論ニ基  
キ今後ノ爲ニ大藏大臣ノ御所見ヲ承ツテ置  
キタイノデアリマス

其ノ一ツハ所謂貨幣ノ流通速度ニ關シテ  
デアリマス、戰爭財政ヲ負擔致シマスノハ  
稅ト公債デアリマスガ、赤字公債ノ發行ハ  
現實的ニハ貨幣ノ造出ニナリマス、其ノ撒  
布ハ國民ノ貨幣所得トナリ、ソレハ又國民  
ノ購買力トナルノデアリマス、固ヨリ貯蓄  
其ノ他ニ依リマシテ之ヲ多く吸收サレマス  
ケレドモ、一應貨幣ノ形體ニナリマスナラ  
バ、其ノ幾度カノ廻轉ニ於キマシテ、其ノ  
都度購買力ヲ造出致シマス、隨テ購買力  
吸收、而シテ「インフレーション」ノ防止ヲヤ  
ルト云フヤウナ見地カラ申シマスレバ、一  
應購買力ニナツタノヲ抑ヘルヨリモ、其ノ  
源泉ニ於テ抑ヘルベキダト云フコトハ、申  
スマデモナイノデアリマス、茲ニ貨幣流通  
ノ速度ガ問題ニナツテ來ルノデアリマスガ、  
我が國ノ流通速度ハハツキリ致シマセヌケ  
レドモ、米國ノ最近ノ平均流通速度ハ・・七五  
デアリマス、假ニ我が國ノ流通速度ヲ二ド  
抑ヘマスナラバ、假ニ二百億ノ赤字公債ヲ  
發行スルトスレバ、其ノ國民購買力ハ四百  
億ニナリマス、之ヲ貯蓄其ノ他消費規正等  
ニ依リマシテ抑ヘルトシテモ、尙且ツソコ  
ニ莫大ナ購買力ガ生起セザルヲ得ナイノデ  
アリマス、隨テソレヲ抑ヘル爲ニハ購買力  
ニナル前ニ、即チ其ノ源泉ニ於テ抑ヘルベ  
キデアルノデアリマス、シテ見レバ直接稅  
ニ於テモ此ノ決戰態勢ノ要請上特ニ配意ス  
ル必要ガアツタノデハナイカト云フコトガ  
第一點デアリマス、ソレカラ所謂應能原則  
ニモ色々々新シキ意味ハ加ハツタデアリマセ

上重要ナ原則デアルコトハ御説ノ通リデア  
リマス、ソコデ御尋ネ致スノデアリマスガ、  
此ノ戰時下、殊ニ大東亞戰爭ノ勃發以來ト  
云フモノハ戰力増強ノ劃期的要請ニ策應シ  
テ高能率企業ニ對シテハ凡ニル生産ガ集中  
シテ居リマス、隨ヒマシテ茲ニ利潤ガ非常ニ  
ニ嵩嵩シテ居ル、更ニ財產ノ戰時下ニ於ケ  
ル自然増價ト云フコトヲ考ヘラマシテモ、  
殘存企業體、或ハ有產階級層ニ相當ノ租稅ノ  
負擔力ガアルト思フノデアリマス、然ルニ  
他ノ一面ニ於キマシテハ計畫經濟或ハ重點  
產業ノ結果トシテ、或ハ祖先傳來ノ職ヲ失  
ヒ、又產ヲ傾ケ、サウシテ負擔力ガ非常ニ  
減ツタモノガアリマシテ、茲ニ戰時下ニ於テ  
ケル貧富ノ懸隔ト云フヤウナ社會政策的考  
慮ハ別ト致シマシテモ、應能原則ガ戰爭財  
政ニ於テ特ニ必要デアルナラバ、或ハ新シ  
イ意味ニ於キマシテモ、此ノ戰時下ニ於テ  
負擔能力ノ増強サレタル者ニ租稅ヲ負擔サ  
セルト云フコトハ非常ニ必要ナコトデハナ  
イカ、其ノ意味ニ於テ今度ノ增稅ニ於キ  
マシテモ一息入レルデナクシテ、直接稅ニ  
付テモ亦特ニ配意スペキモノデアツタト考  
ヘラレルノデアリマス、更ニ租稅負擔ノ公  
平ノ原則カラ申シマシテモ、又新シイ理念ガ  
加ハツタノデアリマスガ、ソレハ私ノ考ヘ  
ニシテ間違ヒナイトスルナラバ、戰時下ニ  
於キマシテ何人モ戰爭ニ依ツテ利得スベカ  
ラズ、或ハ戰時下ニ於テハ非常ナ犠牲ヲ受  
ケル階層モアリ、又他方ニ於テハ非常ニ戰  
リマス、即チ私ノ考ヘヲ率直ニ申シマスト、  
戰時下ニ於テ一方ニ於テハ非常ナ犠牲ヲ受

會正義上カラ申シテモ、戰時下ニ於ケル舉國態勢ノ精神的抵抗力ヲ增强致ス上カラ申シマシテモ、甚ダ問題ト思フノデアリマス、現實ニ今日ノ經濟社會ヲ見マスルト貧富ノ懸隔ハ次第ニ甚シクナリ、更ニ一面ニ於キマシテハ非常ニ利得シ、然モ戰時下ニ於テ好マシカラス消費ヲヤツテ居ル者ナキニシモアラズ、或ハ他ノ一面ニ於キマシテハ非常ニ日常ノ生活ニ困窮シテ居ル者サヘモアルノデアリマスカラ、社會正義、或ハ戰時國家財政ノ要請カラ考ヘマシテモ、直接稅ノ方ニ於テモ亦考ヘルベキデナカツタデナイカト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、更ニ間接稅ハ、直接國民一般ニ對スル大衆的ナ課稅デアリマス、併シ國民ノ購買力ト云フノハ決シテ一般的デナインデアリマシテ、購買力ハ或ル階層ニハアルガ、或ル階層ニハナイ、或ハ國民大衆ノ家庭ノ生活ニ於キマシテ餘裕ガアルヤウニ見ヘマシテモ、所謂過剩ノ購買力デナイ場合モアリ得ルノデアリマス、即チ高イカラ買ヘナイノダ、或ハ戰時下ニ於ケル時局認識上買ハナイノダト云フヤウナ場合ガアリマシテ、兎モ角モ國民購買力ト、其ノ購買力ノ均霑ト云ヒマスカ、ソレハ別ナノダト云フコトガ考ヘラレマス、更ニ又長期大消耗戦下ニ於キマシテハ、國民大衆ニ對シマシテハ、間接稅ハ特ニ考慮スベキモノガアルノデハナイカ、即チ消費規正ノ責任ハ寧ロ低所得ノ者ニ對スルヨリモ、高所得ノ者ニ負ハスベキデハナイカ、ト言ヒマスクトハ勞働ノ生産性ヲ增强スル爲ニ、或ハ人口ノ増加、或ハ幼兒、小兒ノ精神的、肉體的健康ヲ保持スル爲メ、或ハ技術確保ト云フヤウナ意味カラ致シマシテ、間接

消費規正ノ責任ヲ背負ハスト云フコトハ、固ヨリ最近ニ於キマスル貯蓄ノ増加、昨年ニ於キマシテ二百十三億ノ貯蓄ノ増加ヲ致シテ居ル、或ハ又物品税、遊興飲食税等ノ非常ナ增收ヲ致シテ居ル現状カラ考ヘマスレバ、其ノ必要ナルコトハ能ク分リマスケレドモ、尙且ツ高所得者ニ對シマシテ消費規正ヲ要求致シ、税ノ負擔ヲ更ニ増加スルト云フコトハ必要デハナイカ、斯様ナ意味カラ致シマシテ、直接税ヲ御配意スベキデナカツタカト云フコトガ私ニハ考ヘラレルノデアリマス、更ニ思想戦ト云フコトハ目ニモ見エズ、或ハ耳ニモ聞エマセヌケレドモ、總力戦ノ一翼トシテ洵ニ重要ナ要素デアリマス、思想戦ニ破レマシテ或ハ國家ガ滅ビ或ハ弱マツタノハ、古今東西其ノ例ニ乏シクナインデアリマス、思想戦ハ現下我ガ國ニ於キマシテモ極メテ重要デアリマスガ併シ私ヘ外カラ所謂五列的ニ入ル我が國民ノ思想攪亂ト云フコトハ、日本人ガ眞ニ日本精神ヲハツキリ把握致シ、日本人的自覺ヲ持ツテ居ルナラバ、ソレハ大シテ問題デナイト思ヒマスノデ、此ノ思想戦ノ問題ニ付テハ、寧ロ内カラ日本精神、日本人的自覺ヲ動搖サスト云フヤウナモノヲナクスルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、即チ思想悪化ノ原因ヲ國內ニ於テ作ラヌト云フコトガ必要デアラウト思ヒマスガ、ソレニハ大イニ國民精神ノ強化、日本人的自覺ヲ把握サスト云フコトが必要デアリ、或ハヲ能ク勘案致シマシテ、宜シク措置スルト云フコトモアリマスケレドモ、此ノ戦時下

ニ於テ社會的不正義ヲ現出セシメ又ト云フ  
コトニ重大ナル問題ガアルト思ヒマス、即  
チ一方ニ於キマンシテハ、國民中生活上困難  
シテ居ル者ガアルニモ拘ラズ、戰爭ニ依ツ  
テ少數ノ者ハ利得シテ居ル、而モ其ノ利得  
者ガ國家ノ恩惠ニ浴シ、或ハ其ノ利得ガ戰  
争ノ結果デアルニモ拘ラズ、其ノ點ヲ把握  
シテ居ラナイ、又刻下喫緊ノ要務ナル生産  
力ノ增强ニ對シマシテモ、其ノ使命ガ十分  
ニ果サレテ居ラナイト云フコトヲ見ルナラ  
バ、茲ニ社會正義上戰爭ニ依ツテ恵マレナ  
イ者、或ハ犠牲ノ、或ハ負擔ノ大キナ者ハ  
ナント考ヘルカト云フコトヲ考ヘマスルナ  
ラバ、私ハ今度ノ增稅ニ於キマシテモ、ヤ  
ハリ間接稅ヲ増徵スルト云フコトモ意味ガ  
十分ニアリマスケレドモ、直接稅ニ於キマ  
シテモ尙且ツ増徵ノ手ヲ打ツベキデアツタ  
デハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、斯様  
ナ觀點カラ致シマシテ、本年度ノ增稅計畫ニ  
直接稅ニ觸レテ居ラレヌト云フコトニ對シ  
マシテハ、御説明ヲ承リマシテ之ヲ諒ト致  
シテ居リマスケレドモ、尙ホ私ハ今後此ノ  
問題ニ付テ特ニ御配意ヲ煩ハシタイト思ヒ  
マスノデ、今は等ノ問題ニ付キマシテ御所  
見ヲ承リタインデアリマス

方カラ言ヘバヤカマシイト言ツテ居ル内部  
資金ノ蓄積ニ努メテ居ル、配當ト勞務員等  
ニ對スル支拂ハドウシテモ已ムヲ得マセヌ、  
又全部源泉デ取ラレテ、生活トカ——ソレ  
ガ食料品ノ供給業者其ノ他日用品ノ供給業  
者ニ對シテ拂フ、是ハ或ル程度ノ循環ハ已  
ムヲ得ナイ、其ノ循環ノ過程ヲ急速度ニ細  
クシテ行クノガ戰時經濟テアル、ソレガ細  
クナラナケレバ斯ウ云フ大キナ貯蓄ハ出來  
マセヌ、ソレハ御說ノ如ク源泉ニ努メテ居  
リマスルシ、又現在非常ニ急速ニ其ノ方向  
ニ參ツテ居リマス、是ハ事變前年ニ二十億  
十億時代ノ貯蓄ト全然其ノ様相ヲ異ニ致シ  
テ居リマス、尙ホ今年ノ間接稅アリマス  
ルガ、先般ノ御質問ニナリマンシタ時ニ御答  
ヘ申上ゲマシタガ、或ル意味デ直接の間接稅  
ト申シテモ宜シトイ思フ、普通ノ昔ノ概念  
的ナ生活必需品ヲ主トシテ、而モソレニ均  
一稅率ヲ課ケル、此ノ間接稅トハマルデ内  
容ガ違ヒマス、節約不可能ナモノハ殆ド  
一ツモ課カリマセヌ、サウシテ體節約可  
能ナモノニ課カルヤウニナツテ居ル、私ハ  
人ガ所得ニ應ジテ假ニ消費生活ニ向ヒマス  
ナラバ、殆ド是ハ擔稅力ニ應ズルニ近イ  
間接稅ダト思ヒマス、偶ソレニ向ヒマセヌ  
人ハ、所得ガアツテモ大體貯蓄ノ方向ニ向  
ヒマスノデ、相當好イ作用ガ其ノ方面ニナ  
ス譯デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ從  
來ノ生活必需品ヲ主トシテ課ケル所ノ、而  
モ一律稅トハ全然私ハ性質ヲ異ニシテ居ル、  
斯ウ云フ觀點ガ實ハ稅務技術的ニ見マシタ  
良心カラ致シマシテモ、直接稅ト相竝ンデ  
進マナイデ、其ノ障碍ヲ一ツ私ノ信條デハ

ノ大ナルモノニ付キマシテハ、現在マデノ  
稅法ニ於キマシテモ、所得稅ノ累進率ガ相  
當大キイモノアリマス、又臨時利得稅モ  
相當大キイモノガ課カツテ居リマス、其ノ  
他船舶、鑛業權等ノ賣買ニ依ツテ得マシタ  
利益ニモ課カツテ居リ、是ハ相當ナ程度ニ  
現在行ツテ居ル譯ニアリマス、然ラバソレ  
デ宜シカ、必ズシモ私ハソレデ満足ヘシ  
テ居リマセヌガ、一面相當ナ程度ニ參ツテ  
居リマスシ、又時局ノ影響ニ依ツテ所得上  
氣ノ毒ナ立場ニアリマスル年齡關係ナドニ  
致シマシテモ、是ハ戰時下世ノ中ガ進  
ダコトデアリマスカラ、昔ノ稅法ニ見ラレ  
ナイ相當ナ多種類ノ臨時施設モ成立ツテ居  
ルヤウデアリマス、ソレデ大體昨年ノ增稅  
ハ一昨年ノ秋ノ間接稅ト大體歩ヲ合ハセル  
モノデアリマスガ、聊カ兩方ノ權衡デ見ル  
ト直接稅ニ賴リ過ギル、昨年ノ增稅マデノ  
直接稅、間接稅ノ比率カラ行キマスト、日  
本ガ一番直接稅ノ割合ガ多イ、而モ其ノ間  
接稅タルヤ往々ニシテ酒稅ナド——酒稅ハ  
昨年無等差デ、砂糖ナドヲ主ニシタ以外ノ  
入場稅、物品稅、遊興飲食稅ト云フ非常ナ  
擴稅力ニ應ズル面、直接稅的ノ意味ガ入ツ  
テノ割合デアリマス、舊來ノ間接稅、直接  
稅ノ割合カラ言ヘバ直接稅ガ多イ割合デア  
ルト思フ、其ノ意味ニ於キマシテ本年考ヘ  
マシタコトハ、本年ノ增稅ガ直接稅的間接  
稅デアル、例ヘバ煙草ノ葉巻ハ五十圓ガ百  
二十五圓、金鷄ノ如キ場合モ多イノデアリ  
マスガ、是ハ相當ナ開キデアリマス、サウ  
云フ點ト私共ハ昨年ノ直接稅増稅ガ新タ  
ル所得層ニ隨分廣ク向ヒマシテ、一方ヘ家  
族控除等相當大キナ特典モアリマス、五人

家族ガアレバ月十五圓モ免稅ニナルヤウナコトデアリマスルノデ、相當增稅ガアツテモ所得稅ヲ納メ又ヤウナ方法ヲ講ジテ居リマスガ、多數ノ所得階層ニ、而モ少額ノ層ニ隨分向ツテ居ル狀況デアリマス、是等ハ一度モ稅ヲ納メタコトモナイト云フ人ガ初メテ稅ヲ納メル、增稅ノ仕方モ大幅デアリマス、大體釣合カラ申シマシテモ永久ニ其ノ儘デ參ルト云フコトナラバ問題ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ又色々施策ノ機會ハ年々アルコトデアリマスカラ、只今はガ國民ノ負擔ヲ不公平ニシテ我慢出來ナイト云フ程度ノモノデハナイト私ハ思フ、今後モ増稅ヘドウシテモアルコトデアリマス、サウ考ヘマスト、サウ云フ所得層ニ又增稅ヲスル、又日本ハ直接稅ヲ增收シマスル時ニ少額所得ニ増稅シマセヌケレバ殆ド增稅ノ效果ガナイ、葉巻五十圓ガ七十五圓モ上ツタノハ販賣數量ガ少イノデ、依然ト煙草ノ値上モ金鷄ノ値上ノ增收ノ部分ニ依ツテ居ル、多額所得者ニウント課ケテモ、是ハ租稅額デハ幾ラモナイ、ドウシテモ直接稅ノ増稅ト言ヘバ所得ノ比較的少イ階層ニ向ヒマス、是等ノ人々ノ感ジヘドウデアリマスカ、率直ニ申シマシテ非常ニ複雜な國家組織の生活ト云フコトニヘ慣レナイ人ガ、商賣スレバヤレ原料ノ統制、販賣價格ノ統制ソレカラ帳面ヲ付ケナケレバナラヌ、組合ガ出来タ、モウ何ト言ヒマスカ伴天一枚着テ香氣ニヤレタモノガ急ニ「カラーッ」付ケ「ネクタイ」ラ付ケテ、帽子ヲ冠ツテ靴ヲ穿クト云フヤウナ、總デノ營業方面ガサウナツテ行ク、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、ヤレ防空ガアル、何ガアルト云フヤウニ非常ニ生活ニ對シテ複雜性ヲ加ヘテ、ソレ

ガ皆新ラシイコトナノデス、從來ナイ觀念ヲモコトヲヤルノデアリマスカラ、指導ニ立ツ役人ラヌ、サウ云フ問題ニ付テハ國家的ニ新シイメテ稅ヲ納メル、增稅ノ仕方モ大幅デアリマス、大體釣合カラ申シマシテモ永久ニ其ノ儘デ參ルト云フコトナラバ問題ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ又色々施策ノ機會ハ年々アルコトデアリマスカラ、只今はガ國民ノ負擔ヲ不公平ニシテ我慢出來ナイト云フ程度ノモノデハナイト私ハ思フ、今後モ増稅ヘドウシテモアルコトデアリマス、サウ考ヘマスト、サウ云フ所得層ニ又増稅ヲスル、又日本ハ直接稅ヲ增收シマスル時ニ少額所得ニ増稅シマセヌケレバ殆ド増稅ノ效果ガナイ、葉巻五十圓ガ七十五圓モ上ツタノハ販賣數量ガ少イノデ、依然ト煙草ノ値上モ金鷄ノ値上ノ增收ノ部分ニ依ツテ居ル、多額所得者ニウント課ケテモ、是ハ租稅額デハ幾ラモナイ、ドウシテモ直接稅ノ増稅ト言ヘバ所得ノ比較的少イ階層ニ向ヒマス、是等ノ人々ノ感ジヘドウデアリマスカ、率直ニ申シマシテ非常ニ複雜な國家組織の生活ト云フコトニヘ慣レナイ人ガ、商賣スレバヤレ原料ノ統制、販賣價格ノ統制ソレカラ帳面ヲ付ケナケレバナラヌ、組合ガ出来タ、モウ何ト言ヒマスカ伴天一枚着テ香氣ニヤレタモノガ急ニ「カラーッ」付ケ「ネクタイ」ラ付ケテ、帽子ヲ冠ツテ靴ヲ穿クト云フヤウナ、總デノ營業方面ガサウナツテ行ク、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、ヤレ防空ガアル、何ガアルト云フヤウニ非常ニ生活ニ對シテ複雜性ヲ加ヘテ、ソレ

ガ皆新ラシイコトナノデス、從來ナイ觀念ヲモコトヲヤルノデアリマスカラ、指導ニ立ツ役人ラヌ、サウ云フ問題ニ付テハ國家的ニ新シイメテ稅ヲ納メル、增稅ノ仕方モ大幅デアリマス、大體釣合カラ申シマシテモ永久ニ其ノ儘デ參ルト云フコトナラバ問題ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ又色々施策ノ機會ハ年々アルコトデアリマスカラ、只今はガ國民ノ負擔ヲ不公平ニシテ我慢出來ナイト云フ程度ノモノデハナイト私ハ思フ、今後モ増稅ヘドウシテモアルコトデアリマス、サウ考ヘマスト、サウ云フ所得層ニ又増稅ヲスル、又日本ハ直接稅ヲ增收シマスル時ニ少額所得ニ増稅シマセヌケレバ殆ド増稅ノ效果ガナイ、葉巻五十圓ガ七十五圓モ上ツタノハ販賣數量ガ少イノデ、依然ト煙草ノ値上モ金鷄ノ値上ノ增收ノ部分ニ依ツテ居ル、多額所得者ニウント課ケテモ、是ハ租稅額デハ幾ラモナイ、ドウシテモ直接稅ノ増稅ト言ヘバ所得ノ比較的少イ階層ニ向ヒマス、是等ノ人々ノ感ジヘドウデアリマスカ、率直ニ申シマシテ非常ニ複雜な國家組織の生活ト云フコトニヘ慣レナイ人ガ、商賣スレバヤレ原料ノ統制、販賣價格ノ統制ソレカラ帳面ヲ付ケナケレバナラヌ、組合ガ出来タ、モウ何ト言ヒマスカ伴天一枚着テ香氣ニヤレタモノガ急ニ「カラーッ」付ケ「ネクタイ」ラ付ケテ、帽子ヲ冠ツテ靴ヲ穿クト云フヤウナ、總デノ營業方面ガサウナツテ行ク、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、ヤレ防空ガアル、何ガアルト云フヤウニ非常ニ生活ニ對シテ複雜性ヲ加ヘテ、ソレ

ガ皆新ラシイコトナノデス、從來ナイ觀念ヲモコトヲヤルノデアリマスカラ、指導ニ立ツ役人ラヌ、サウ云フ問題ニ付テハ國家的ニ新シイメテ稅ヲ納メル、增稅ノ仕方モ大幅デアリマス、大體釣合カラ申シマシテモ永久ニ其ノ儘デ參ルト云フコトナラバ問題ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ又色々施策ノ機會ハ年々アルコトデアリマスカラ、只今はガ國民ノ負擔ヲ不公平ニシテ我慢出來ナイト云フ程度ノモノデハナイト私ハ思フ、今後モ増稅ヘドウシテモアルコトデアリマス、サウ考ヘマスト、サウ云フ所得層ニ又増稅ヲスル、又日本ハ直接稅ヲ增收シマスル時ニ少額所得ニ増稅シマセヌケレバ殆ド増稅ノ效果ガナイ、葉巻五十圓ガ七十五圓モ上ツタノハ販賣數量ガ少イノデ、依然ト煙草ノ値上モ金鷄ノ値上ノ增收ノ部分ニ依ツテ居ル、多額所得者ニウント課ケテモ、是ハ租稅額デハ幾ラモナイ、ドウシテモ直接稅ノ増稅ト言ヘバ所得ノ比較的少イ階層ニ向ヒマス、是等ノ人々ノ感ジヘドウデアリマスカ、率直ニ申シマシテ非常ニ複雜な國家組織の生活ト云フコトニヘ慣レナイ人ガ、商賣スレバヤレ原料ノ統制、販賣價格ノ統制ソレカラ帳面ヲ付ケナケレバナラヌ、組合ガ出来タ、モウ何ト言ヒマスカ伴天一枚着テ香氣ニヤレタモノガ急ニ「カラーッ」付ケ「ネクタイ」ラ付ケテ、帽子ヲ冠ツテ靴ヲ穿クト云フヤウナ、總デノ營業方面ガサウナツテ行ク、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、ヤレ防空ガアル、何ガアルト云フヤウニ非常ニ生活ニ對シテ複雜性ヲ加ヘテ、ソレ

ガ皆新ラシイコトナノデス、從來ナイ觀念ヲモコトヲヤルノデアリマスカラ、指導ニ立ツ役人ラヌ、サウ云フ問題ニ付テハ國家的ニ新シイメテ稅ヲ納メル、增稅ノ仕方モ大幅デアリマス、大體釣合カラ申シマシテモ永久ニ其ノ儘デ參ルト云フコトナラバ問題ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ又色々施策ノ機會ハ年々アルコトデアリマスカラ、只今はガ國民ノ負擔ヲ不公平ニシテ我慢出來ナイト云フ程度ノモノデハナイト私ハ思フ、今後モ増稅ヘドウシテモアルコトデアリマス、サウ考ヘマスト、サウ云フ所得層ニ又増稅ヲスル、又日本ハ直接稅ヲ增收シマスル時ニ少額所得ニ増稅シマセヌケレバ殆ド増稅ノ效果ガナイ、葉巻五十圓ガ七十五圓モ上ツタノハ販賣數量ガ少イノデ、依然ト煙草ノ値上モ金鷄ノ値上ノ增收ノ部分ニ依ツテ居ル、多額所得者ニウント課ケテモ、是ハ租稅額デハ幾ラモナイ、ドウシテモ直接稅ノ増稅ト言ヘバ所得ノ比較的少イ階層ニ向ヒマス、是等ノ人々ノ感ジヘドウデアリマスカ、率直ニ申シマシテ非常ニ複雜な國家組織の生活ト云フコトニヘ慣レナイ人ガ、商賣スレバヤレ原料ノ統制、販賣價格ノ統制ソレカラ帳面ヲ付ケナケレバナラヌ、組合ガ出来タ、モウ何ト言ヒマスカ伴天一枚着テ香氣ニヤレタモノガ急ニ「カラーッ」付ケ「ネクタイ」ラ付ケテ、帽子ヲ冠ツテ靴ヲ穿クト云フヤウナ、總デノ營業方面ガサウナツテ行ク、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、ヤレ防空ガアル、何ガアルト云フヤウニ非常ニ生活ニ對シテ複雜性ヲ加ヘテ、ソレ

ナイカ、是デモ違ヒマセウ、又家ニ空地ガアツテ野菜ヲ作ルダケノ餘地ガアルカナイカ、是デモ違ヒマセウ、所得ガ同ジダカラト云ツテ、同ジモノヲ負擔スルナドト云フ譯ニハ到底行キマセヌ、ソレヲ無理ガナイヤウニヤルニハ淺ク取ルヨリ外ナイ、ダカラ税ハ六十億デモ苦情ガアルノデス、ソコデ淺ク取ルヨリ外ニナイ、貯蓄ノ強制ヲソレヨリ強クヤツタナラバ大變ナコトニナル、其ノ税ヲ取ツタ上ニ二百三十億ヤラウ、之ヲ法律デ以テオ前幾ラ納メナケレバナラヌト云フコトニヤツタナラバ大變ナコトダト思フ、ソシナ認定ヲスル力ノアル者ハ、私ハ日本國中ニ殆ドナイト思フ、ソレデハドウシテ行クカ、ソレダケノ購買力ヲ吸收シナケレバナラヌ、ソレデ私ハ愛國心ニ懇ヘテ居ルノデアリマス、部分的ニハ色々アリマス、ソレヲ強制ナドシタラ破壊デアリマス、所ガ農村デハ割合隣保消化ノ歩合ニ付テ苦情ガ少ヒト云フノハ、長ク一緒ニ居ツテ近隣付合ヒヲシテ居ルカラ、オ互ヒノ事情ガ分リマスガ、東京ナドヘ、私等ノ経験デモ何十年居リマシテモ、隣ノ主人ト話ヲシタコトモナイト云フヤウナ生活ヲシテ居ル、ソレガ今日戰時下ノ要請デ急ニ色々ナ隣保組織ガ出來マシテモ、ウマク行カナイノハ初々カラ當リ前デアル、併シ其ノ内ニ御互ヒニ氣心モ知リ、家庭ノ事情モ分リ、又隣組、町内會ニ於テ世話ヲスル人ガ熱心デアリ、且ツ行届イタ人デアルナラバ、段デハ是ハ無理ダ、ココハ市民税トシテハ此

ノ位ダガ、息子サンガ重工業ニ雇ハレテ行  
トヤツテ貰ツテ貰イ、軍需工場へ行ツテ  
此ノ位ヤツテ居ルガ、親掛リデ遊シニ居  
時ヨリモ経費ガ大シテ掛ラヌカラト云フナ  
ラモツトヤツテ貰フ、ソンナコトガ段々分  
リ、東京ナドハ僅カ數年デアルガ、町内會  
長サン隣組長サンノ行届イタ所デハ現實ニ  
ソレガ出来テ行クカラ、毎月々々ノ貯蓄ノ  
成績ヤ、隣保消化ノ成績ヲ見テモ抜群ニ良  
イ、少クトモ苦情ガアルト云フコトガ少イ、  
之ヲ法律デ強制スルト、何ト考ヘマスカ、  
官僚統制ガ惡イト言フガ、其ノ通りデアル、  
法律ニ書ク時ニハドウシテモ一律ニナル、「エ  
ー」ノ人、「ビー」ノ人ノ事情ヲ一々調べテ行  
クト云フ譯ニモ行カヌ、ソレガ今ノ法律規  
則デアリマシテ、ソレガ色々ノ苦情ノ種ニ  
ナルノデアリマス、併シ私ハ方法ニ依ツテ  
ハソレモ要ルト思フ、私ハ鹽ノ配給ニ付テ  
モ色々苦情ノ多いコトヲ聞イテ居ル、專賣  
局デ色々ナ計畫ヲ立て、其ノ立テタモノヲ  
紙ノ上デ見レバ、一通り成ツタヤウデアル  
ガ、是ハ今マデ各人ガ鹽ヲドレダケ消費スル  
カ、鹽ナドハ、他ノ酒ヤ砂糖ト違ツテ、無駄  
ニ消費スル人ハアリマセヌガ、ソレデモ使  
ヒ方ハ皆違フ、從來ノ實績ガ個別的ニヘツ  
キリ分ラヌ上ニ、其ノ實績ナルモノガ果シ  
テ正當ナリヤ否ヤモノ分ラヌ、ソレヲ此ノ專  
賣局出張所ノ管内ハ、是ダケダカラ斯ウスル、  
紙ニ書イタモノガ何枚モ何枚モアツテ、ソレ  
ハ一應立派ナモノガ出來ルガ、之ヲ「ツノ  
村ナリ町ナリニ當缺メル時ニハ中々巧ク行  
ラレル或ル方ニ御願ヒシテ、サウ云フ行キ方

ヲ配給計畫ヲ考ヘテ、其ノヤリ方デドウナ  
ルカ、是へ私見デスガ、サウシテヤツテ貰  
フヤウニ考ヘテ居リマス、私ハ貯蓄ナドハ  
ドウシテモ其ノ行キ方デ行クヨリ仕方ガナ  
イ、ソレデモウ略々五年ノ歴史モアルノデ、  
其ノ間熱心ニ而モ上手ニヤラレタ爲ニ非常  
ニ苦勞少クシテ、巧イ成績ヲ擧ゲテ居ル人  
ガ多イカラ、サウ云フ方々ニ一面全面的ニ  
色々御話スルコトモシ、又サウ云フ方々ノ  
實驗ヲ他ノ人ニ移シテ、少シデモ空伊テ居  
ル時間ヲ以テ他ノ組合ヤ何カラ指導シテ貰  
フト云フヤウナ意味デ、サウ云フ指導員ノ  
養成ト云フコトニ既ニ手ヲ着ケテ居ルノデ  
アリマス、サウシテ極メテ個別的ニ剝切的  
ニ行ク方法ニシタイ、サウナリマス時ニ、  
ヨク權力問題ガ起リマス、熱心ナ町會長ナ  
ドハ何カ權力ガ欲シイ、ドウシテモ譯ノ分  
ラヌ人ガアルノデ、何カナイトイカスト云  
フコトデアルガ、ゾコハ政府ノ考ヘデハ、  
サウ云フ個人的裁量、個別的ニ決定スルマ  
デノ執行權ノヤウナモノヲ付ケルト、又敵  
害モ非常ニ恐ルベキモノダ、ソレデ其ノ町  
會長ナドニハ非常ニ御氣ノ毒ダガ、ヤハリ  
前線デ突貫スルノト同ジコトデ、一回ヤツテ  
駄目ナラ二回デモ三回デモヤツテ貰フヨリ  
外ナイ、サウスレバ相手モ日本人デアルカラ  
何回デモヤレバ其ノ内ニ分ルデアリマセウ、  
又ソレデ分ツテ行ツテ居ル實績モアリマス、  
是ハ結局サウ云フ精神的基礎ニ基イテ個別  
的ノ考ヘテ入レテ行クヨリ外ナイ問題デア  
ルト、私ハ考ヘテ居リマス、是ハ此ノ大キナ貯  
蓄ガ出來ナケレバ直グ戰時經濟ガ保テナイン  
ト云フ大問題デアルガ、五箇年間ノ實驗ニ於  
テハ先づ毎年略所要ノ目的ヲ達シマシテ、今

マデ費戻ニ一厘ノ不自由モ掛ケズ、國家ノ  
真ニ必要トスル生産力擴充資金ニ困ルコト  
モナク、通貨其ノ他ノ状態モ此ノ大東亞戰  
下ニ極メテ平靜ニ進ンデ居リマス、或ル意味  
ニ於テ今日マデハ此ノ状況ハソレデ差支ヘ  
ナク行ツタ、而モ躍進段階ヲ見マシテ、昭  
和十一年ガ、事變前ノ最高ノ國民貯蓄ノ成績  
ガ昭和十三年ニハ七十三億幾ラニ躍進致シ、  
デアリマシタガ、二十七億デアリマス、其ノ  
前ハ二十億足ルカ足ラヌカデアリマス、ソレ  
イカト云フコトニ付キマシテ、今マデハ行  
ツタケレドモ、大東亞戰爭ニナツタラモウ  
行カナイカト云ヘバ、一年數箇月ノ經驗デ、  
是モ大體行クト云フ非常ニ躍進デアリマス  
ガ、從來ノ方法ノ延長デ之ヲヤリ得テ居ル  
ノデアリマス、私ノ唯獨斷デ是デ宜イト由  
上ゲル譯デモナイト思フガ、「ドイツ」ナド  
デモ非常ニ強制ト云フコトヲ避ケテ居リマ  
ス、「アメリカ」ハ今度強制ヲ、ドウ云フ古  
法デヤルカ分リマセヌガヤルト言ヒマス、  
「イギリス」ナドノ租稅納付式ノヤリ方モニ  
リマスガ、是ハヤハリ違フヤウデ、昨日チ  
一寸申上ダマシタガ、ドウシテモ日本ハ最  
終ノ所マデ十分ニ資金ノ吸收、貯蓄ヲ上ダ  
ナケレバナリマセヌカラ、法律的ヨ云ヘバ  
非常ナ無理ハ出來マセヌノデドウシテモ達  
クナリマスカラ、假ニ明年二百五十億ナラ  
百五十億ハ強制デハイカヌト思フ、ソレデ  
行ツタラ大變ダト思ヒマス、而モソレダケ  
シマシテモ、一番大事ナ其ノ先ノ百億ナリ  
デ濟マヌノデアリマシテ、ータビ金ニ不自

由シタ時ニハ出シ得ナケレバナリマセヌ、不幸ガアツタラ、又病氣ガアツタラ其ノ時ノ金ガ要ルカラ、ソレハ預ケナイデ置ク、預ケタラ出セヌカラト云フノデハ伸ビナイ、ドウシテモ其處マデ行カナケレバナラヌガ、強制シテ置ケバ、サウ云フ場合ノ引出シト云フコトニ法的統制ヲ加ヘナケレバナラヌ、サウナレバ誰ガ病氣ニナツタカラ幾テ出シテ吳レト云フ願書ヲ拵ヘテ、何處力ノ役所ニ持ツテ行ツテ認可ヲ受ケナケレバナラヌシ、其ノ病氣ガ長引ケバ又認可ヲ受ケナケレバナラヌ、ソレガ葬式デモ出スコトニナレバ又認可ヲ受ケナケレバナラヌ、コンナコトヲシテ強制シテ貯蓄ヲヤルベキデハナイ、是ガ私ノ大體ニ於テ法的ノ強制ニ依ラナイト云フ理由デアリマス〇藤本委員 昨年十二月三十日ノ日銀ノ發行高ハ七十四億數千万圓、前年度ニ比べテ十二億餘万圓ノ増加デアリマス、公債消化ヘ九割六分二厘デアリマス、隨ヒマシテ三分八厘程度ノ不消化デアルトスルナラバ、年末ニ於キマシテモ金融ハ五、六億圓程度ノ増加デ宜カツタノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ十二億増加シタ、茲ニ私ハ先程申上ゲマシタヤウニ、高所得者ノ中ニハ貯蓄形態ノ變化ニ依ツテ公債ヲ買ヒ、或ヘ銀行關係ニ於キマシテモサウ云フコトガアツタノデハナイカト考ヘル、サウ云フ意味御事ネシタノデアリマス、且又巷間ニ於キマシテハドウシテモ是ハ強制貯蓄ヲヤルヨリ外ナインデハナイカト云フ考ヘガアリマス、又今御述ベニナリマシデアリマスガ、幸ヒニ詳細ナ御説明ヲ戴イ

テ 深ニ結構デアリマス、最後ニ物價問題ハ  
ドウナサルカト云フ問題デアリマス、是ハ  
固ヨリ商工大臣ノ御主管デアリマスケレド  
モ、物價ノ騰貴ハ財政計畫、國民生活ニ重  
大ナル關係ヲ持ツト思ヒマス、所定ノ計畫  
資金ガ費消サレタト致シマシテモ、物價騰貴  
貴ヲスレバ其ノ費消サレタ額ト云フモノヘ、  
本當ノ生產力増強デナクシテ、勞力、資材  
價格ノ値上リヲ含ムニ過ギナイ、眞ノ生產  
力擴充デハゴザイマセヌ、デアリマスカラ  
大藏當局ニ於カレマシテモ物價問題ト云フ  
モノハ極メテ重要デアルト申サネバナリ  
マセヌ、而シテ商工當局ニ於キマシテモ價  
格停止令或ハ公定價格、或ハ昨年末デアリ  
マスク、統一原價計算制度ノ採用等、兎ニ  
角モウ物價政策ニ於キマシテハ相當ノ手ヲ  
打タレタガ今後更ニドウスルカ、低物價政  
策ヲ堅持スルト云フ御聲明ハ結構デアリマ  
スガ、一體ソレハドウシテヤルカ、所管ハ  
商工省ノ問題デアリマシテモ、其ノ指導的  
ノ立場ニ立タレルノハ、ヤハリ大藏大臣デ  
ナクテハナラヌ、此ノヤウニ思ヒマスノデ、  
私ハ此ノ際、今後モ低物價政策ヲ如何ナル  
方法ヲ以テ堅持サレルカト云フコトニ付キ  
マシテノ御所見竝ニ物價政策ニ對スル御協  
力、或ハ御指導ノ問題ニ付キマシテ、御所  
見ヲ承リタイト思ヒマス

○松村委員長 速記ヲ止メテ……  
〔速記中止〕

顧ヒマス  
記憶致シテ居リマスガ、十八年度ハ二十億ト  
ヲ突破致スノデハナイカト思ヒマスルガニ  
重價格政策、補助金政策、是ハ確カニ悪循  
環ノ懸念ナシトイナノデアリマシテ、只  
今御懇篤ナル御説明モアリマシタガ、尙ホ  
物價ノ水準ヲ維持スル、併シニ付キマシ  
テモ生産力增强ノ見地カラ再検討ノ要ガア  
ルヤニモ 考ヘラレルノデアリマスカラ、何  
卒今後御検討、御善處ヲ煩ハシタイノデア  
リマス、御尋ネノ點ハ以上ニ盡キルノデア  
リマシテ、語ヲ盡サズ極メテ恐縮デアリマ  
シタガ、御懇篤ナル御説明ヲ戴キマシテ感  
謝ニ堪ヘマセヌ、尙ホ一言附加ヘタイノハ、  
國民ガ此ノ時局ヲ非常ニ認識致シマシテ、  
極力消費規正、消費節約ヲ致シテ或ハ租稅  
ノ負擔、或ハ公債ノ消化ニ御奉公致シテ居  
リマスガ、此ノコトハ固ヨリ政府ニ於カレ  
マシテモ其ノ率先垂範ノ必要ガアルノデハ  
ナイカト斯ウ私ハ考ヘマス、惟フニ國家ノ  
中ニ於キマシテ、政府コソ最モ大ナル所ノ  
消費者ニアリマスカラ、假ニ一出來タト  
於テ九十九億九千五百万圓ノ一割消費ガ出  
來ルト致シマスナラバ、其ノ消費額ハ九億  
九千餘万圓ニナリマス、假ニ一分出来タト  
致シマシテモ、九千九百餘万圓ニナルノデ  
アリマシテ、實ニ偉大ナル消費節約デアリ  
マス、デアリマスルカラ、大藏大臣ニ於カレ  
マシテハ、今マデモ率先垂範、政府消費ノ  
節約ヲナサツテ下サツタコトハ實ニ感佩ニ  
堪ヘナイノデアリマスガ、今後トモ國民ノ

○賀屋國務大臣　只今ノ御詰洵ニ御尤モデアリマシテ、國民ニハ増稅ニ次グ增稅ヲ以テシテ、高率ノ課稅ヲ致シ、又貯蓄增加ノ爲ニ國民ニ非常ナ御努力ト御苦心ヲ願ツテ居リマシテ、其ノ金ガ國家收入トナリマシテ、十七年度ニ於キマシテハ、國民所得ノ半額以上、二百四十億ノ金ヲ國家へ使フ譯デアリマス、尙ホ生産擴充、是ハ民間資本ノ系統デアリマスガ、六十億モ使ヒ、三分ノ二ハサウ云フ方面ニ國民カラ絞り出シタ金ヲ使フ譯デアリマスカラ、生産擴充ニ當リマス人々モ、政府モ共々本當ニ國民ノ汗ト膏デ出來タ金デアルト云フコトヲ眞ニ考ヘナケレバナラヌコトヲ痛感致シテ居リマシテ、機會アル毎ニ其ノ趣旨ニ於キマシテ浪費ニナラナイヤウニ努メテ居リマスルガ、尙ホ今後モ御言葉ニ從ヒマシテ十分ニ努メテ參リタイト思ヒマス

○九鬼委員　大體今一般方針ニ付テノ詳細ナ御答辯デ了解致シマシタガ、話題ニ上ラナカツタ方面ニ付テ一言御伺ヒヨ致シタイト思ヒマス、簡單ニ結論ダケ申上げマス、モ申シマセウカ、其ノ層ノ生産力擴充ニ對シテ投資スル投資力ガ年々微弱ニナツテ行クノデハナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、一方ニ於テハ勿論全力ヲ擧ゲテ納稅ニ御奉公申ス念ニヘ變リナインデアリマスガ、一方ニ於テドウモサウ云フ心配ヲ感ズルノデアリマス、此ノ傾向ヲ追ツテ行クト、所謂社會構成上ノ形ニ於テ何カ危險リタイト存ジマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

ノ形ノヤウナモノガ出来ルノデハナイカト  
云フ感ジモ持ツノデアリマス、或ハ杞憂ニ  
過ギナイカモ知レマセヌガ、此ノ傾向ヲ見  
ルト、ドウモサウ云フヤウナ感ジモナキニ  
シモアラズデアリマス、其ノ點ニ付テ私ハ  
大臣ノ御心持、又何カ對策デモオアリニナ  
レバ、御所見ヲ拜聽シタイト思ヒマス、申  
上ゲタイコトハマダアリマスガ、時間ノ關  
係デ結論ダケ申上ガマシテ、大臣ノ御所見  
ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 所得稅其ノ他直接稅ノ課  
稅ニ付キマシテハ、ソレト所得ノ程度ニ  
應ジマシテ、綜合課稅等ニ於キマシテハ累  
進率モ決メテ居ル譯デアリマスカラ、課稅  
申シマスカ、是ノ蓄積力ガ少クナルト云フ  
點ハ、課稅ヲ原因トシテハ私ハナイヤウニ  
存ジマス、唯是ハ御質問ノ御答ヘトシテハ  
當ラヌカモ知レマセヌガ、私ハ課稅問題以外  
ニ考ヘタイノハ、所謂中產階級ノ中ニハ、  
俗ニ云ヘバ洋服ヲ着テ文化的ニ生活ヲスル、  
消費生活形態ガ稍ニ文化型ニナリ過ギテ、收  
入ノ割合ニ支出ガ多イ、斯ウ云フヤウナ觀  
點カラ、資力ガ薄イト云フ弊ト申シマスカ、  
ソレハ日本ノ中產階級、殊ニ俸給生活者階  
級ナドニ共通的ニ見ラレル現象デハナイカ  
ト思ヒマスガ、是等ハ戰時的ニ斯ウ云フ際  
ニオ互ヒニ自肅シマシテ、一ツ生活其ノモノ  
ヲ改善シテ行ク、斯ウ云フ風ナ考ヘ方ニ寧  
ロ進ムベキデハナイカト考ヘマス

○九鬼委員 以上デ質問ヲ打切ルコトニ致  
シマス

○松村委員長 他ニ此ノ際大臣ニ特ニ御質  
疑ノ方ガゴザイマスレバ御發言願ヒマ  
ス——川崎巳之太郎君

### ○川崎(巳)委員 昨日貴族院ニ於キマシ

テ、丸山鶴吉君ガ敵國在留日本人ノ保護ニ  
付テ質問ヲ致シマシテ、外務大臣カラ明快  
ナル答辯ガアリマシタ、其ノコトハ一昨日  
ノ夕刊ニ出、又「ラジオ」デ放送シ、現在戰  
爭中、米英兩國ニ留マツテ居ル幾十万ノ同胞  
ガ直接間接ニソレヲ聽イテ喰カシ心強ク思  
ツテ居ルコトト存ジマス、殊ニ大臣御出身  
地デアル所ノ廣島縣ヲ初メトシ、山口、福

岡、靜岡、愛知、岡山、新潟、鹿兒島、沖繩  
等ノ縣ニ響ク喜ビハ大シタコトデアルト思  
ヒマス、之ニ付キマシテハ又來ル九日共立  
講堂デ大演說會ガゴザイマシテ、野村前駐  
米大使、有田元外務大臣、其ノ他ニ名士ガ  
出テ、在外同胞激勵ノ話ガアリマス、ソレ  
ハ相俟ツテ敵地ニ居リマス同胞ノ喜ビニナ  
リ、同時ニソレ等ヲ出シテ居ル内地ノ人ノ  
喜ビモ大變ナコトト思ヒマス、併シナガラ  
敵國在留日本ノ救護ニ關スル救護事業ヲ行  
フ上ニ兎モ角費用ヲ要スルノデゴザイマシ  
テ、外務大臣モ其ノ費用ノ一端ノコトハ、  
アノ壇上カラ述ベラレテ居リマスケレドモ、  
係者ノ安心、慰安ヲ確實ニスル爲ニ、財政  
元デアル大藏大臣ノ心組ミ、熱意等ヲ伺ツ  
テ置クコトガ出來レバ大變幸福ニ存ジマス  
○賀屋國務大臣 敵國在留中突然戰爭ガ起  
ニリマシテ、敵國カラ歸ルニ歸レズ、敵國ニ  
抑留サレテ居リマス人ノコトハ、私ハ想像  
タ言葉ガ出マシテ、其ノ原稿ヲ見マシタ時ニ、  
スルダニモ御氣ノ毒ダト存ジテ居リマス、  
是ハ前ノ外務大臣ノ時デアリマスルガ、議  
會ノ初メノ外交演說ノ中ニモ、ソレニ觸レ  
私ハ非常ニ喜ンダノデアリマス、今回谷外  
務大臣ノ外交演說ニモ言及ラシ、尙ホ只今

御述ベニナリマシタヤウニ、貴族院ニ於ケ

ル質問ニモ御答辯ガアリマシタ、其ノ答辯  
ハ獨リ外務大臣ノ答辯デナク、政府ノ答辯  
ナル、是ハ申上ゲルノモ何デアリマスガ、  
ナル答辯ガアリマシタ、其ノコトハ一昨日  
ノ夕刊ニ出、又「ラジオ」デ放送シ、現在戰  
爭中、米英兩國ニ留マツテ居ル幾十万ノ同胞  
ガ直接間接ニソレヲ聽イテ喰カシ心強ク思  
ツテ居ルコトト存ジマス、殊ニ大臣御出身  
地デアル所ノ廣島縣ヲ初メトシ、山口、福

岡、靜岡、愛知、岡山、新潟、鹿兒島、沖繩  
等ノ縣ニ響ク喜ビハ大シタコトデアルト思  
ヒマス、之ニ付キマシテハ又來ル九日共立  
講堂デ大演說會ガゴザイマシテ、野村前駐  
米大使、有田元外務大臣、其ノ他ニ名士ガ  
出テ、在外同胞激勵ノ話ガアリマス、ソレ  
ハ相俟ツテ敵地ニ居リマス同胞ノ喜ビニナ  
リ、同時ニソレ等ヲ出シテ居ル内地ノ人ノ  
喜ビモ大變ナコトト思ヒマス、併シナガラ  
敵國在留日本ノ救護ニ關スル救護事業ヲ行  
フ上ニ兎モ角費用ヲ要スルノデゴザイマシ  
テ、外務大臣モ其ノ費用ノ一端ノコトハ、  
アノ壇上カラ述ベラレテ居リマスケレドモ、  
係者ノ安心、慰安ヲ確實ニスル爲ニ、財政  
元デアル大藏大臣ノ心組ミ、熱意等ヲ伺ツ  
テ置クコトガト思ヒマス、其ノ費用ノ一端ノ  
コトハ外務省カラ要求シテ大藏大臣  
ジマス、然ルニ谷外務大臣ガ御述ベニナツ  
タ其ノ費用ハ割合ニ少イヤウニ私共感ズル  
ノデス、是ハ外務省カラ要求シテ大藏大臣  
ノ御承諾ヲ得タモノト思ヒマス、十七年度  
ノ追加豫算ニ二百五十三万圓、十八年度百  
万圓、後ハ追ツテト云フヤウニ簡單ニ御述  
ベニナツテ居リマス、詳シイコトハマダ外務省  
ノ豫算ヲ拜見シマセヌカラ分リマセヌガ、若シ  
東京近所ニ男子ノ部分ガ三十人、女子ノ部  
分ガ三十人、合セテ百名ニ足ラナイト云フ  
イカト云フ感ジラ催シマス、英米人デ日本ニ  
在留ナリ抑留サレテ居ル者ノ數ハ極メテ少ク、  
居ル日本人ハ實ニ多イ、「ハイ」ニ十四万、  
米國ニ十二万、「カナダ」ニ二三万人、「メキ  
シコ」ニ何千人「ブラジル」ニ二十三万人「チ  
リ」ニヤ其ノ途中ノ方々ニ居リマス、又豪洲ニ

ハ何千人、「インド」ニハ三千人、東印度ニ居

ツタノガ送ラレテ方々ニ監禁サレタリ何カ  
シテ、此ノホンノ一部分ダケガ交換サレテ  
還ツテ來タ譯デアリマス、左様ニ見マスル  
ト少クトモ大難把ニ數ヘテ約六十万台アル、  
ソレニ對シテ三百万圓トスルト一人ノ割合  
ガ少イ、特ニ米國ノ方ヘ赤十字、若シクハ  
「ローマ」法王廳ヲ經テ見舞金カ、小遣錢カ、  
醫療費カ通信費ト云フヤウニ分ケテヤリマ  
シテ、換算シテ向フノ金ア遣ツテシマヘバ三  
百万圓ト云ツタ所ガ百万「ドル」ニナラナイ、  
是デハ如何ニモ少イ、聞く所ニ依リマスル  
ト「ドイツ」國ノ如キハアレ程ノ大キナ戰爭ヲ  
シテ居リナガラ、蘭領印度カラ引揚ガテ來  
テ、東京等ニ臨時在留サセテ置ク者ニ——  
是ハ色々變ツテ居ルカモ知レマセヌガ、初  
メノ内ハマアヨク來タト云フコトデアリマ  
シタデセウ、一人五十圓カラ百圓ヤリ、家  
族ノ多イ者ニハ一月千圓位ヅツノ手當ヲヤ  
ツテ居ツタ者モアツタト云フコトデアリマ  
ス、之ニ比ベルト餘リニ少イヤウニ思フノ  
デアリマス、差當リノ應急費デゴザイマス  
ガ、其ノ點私ノ解釋ガ間違ツテ居ルカドウ  
カ力説明願ヒタイト思ヒマス、米國、「ブラン  
ジル」等ニ居ル多クノ日本人ハ、身體ハ抑留  
サレテ居ル、或ハ收容所ニ溜マラレテ居ル  
バカリデナク、生業ヲ營ンデ居タ場所カラ  
ラレテ行ツテ、其ノ留守ニナツタ家、農園、  
其ノ他器物、財產ト云フモノハ、公賣ニ付  
シテ叩賣リニシテ居ル、例ヘバ一千「ドル」ノ  
モノヲ獨レ合デ以テ安ク處分シテ居ル……

○松村委員長 川崎君ニ御願ヒシマスガ、

ス——川崎巳之太郎君

成ベク簡潔ニ願ヒマス  
○川崎(巳)委員 是等ニ對シテハ、敵國人ノ財產管理法デ大分敵國人ノ財產ヲ抑ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、サウ云フモノヲ利用シテ何カ根本的ニ先々ノ活用ヲナサル御考ヘガアルカドウカ、此ノ邊モ伺ヒタ  
イト思ヒマス

○賀屋國務大臣 「ロレンソ・マルケス」ニ於テ日本カラハ一艘、『アメリカ』カラハ一艘シカ來テ居ナイ、米英カラ歸ツテ來タ日本人ハ、コツチノ船ニ乗込ンデ、向フノ船トハ比較ニナラヌ程立派ナ船ヲ一艘モ寄越シテ吳レテ實ニ有難カツタ云フ話デアリマスガ、コツチカラ二艘ノ船ニ乗ツテ行ツタ米英人ナドハ、部屋割カ出來ナイデ苦情ヲ言ツテ争ヒヲ起シタト云フコトデアリマス、サウシテ日本ガ如何ニ彼等ヲ手厚クシテ吳レタカト云フコトニ感謝シタト云フコトデアリマス、是ハ獨リ亞ノ時交換船デ歸ツタ人達ノミニ對スル話デハアリマセヌデ、寧ロアノ時ノ交換船デ歸ラナカツタ人達ガドレダケ共ノ氣持ニ於テモ手厚クシテヤラナケレバナラヌ、今ノ御話ニ對シマシテハ、日本カラオ金ヲ送ツテヤレバ向フガ待遇ヲ好クシテ吳レルト云フナラバ、オ金ヲ送ツテモ宜イケレドモ、向フハ向フノ都合デヒド目ニ遭ハセテ居ルノデ、オ金ヲ送ツテモソレ待遇ヲ好クシテヤツテ吳レナケレバ仕様ガナイ、ダカラ唯送金ヲスレバ宜イト云フモノデハナイ、又現狀デハ實ハ送金モ中々困難デアリマス、敵國ノ方デスカラ、之ニドウシテ金ヲ送ルカ、「ドイツ」ト日本トハ協定ガ出來マシタガ、「ドイツ」モ中々大變デアリマスカラ、「イス」トカ、中南米ニ送ル

金ヲ「ドイツ」カラ日本ニ立替モ出來ナイノデアリマス、ソレモ出來ルダケヤリマスガ、今申上ダタヤウニ金ヲ送ツテヤツタラ待遇好クシテ吳レルカト云フト、今サウ云フヲ好クシテ吳レルカト云フト、今サウ云フ關係ニナイミ思フ、必要ナ金デ役ニ立ツ金ナラ、假令日本ノ經費ハ少ウゴザイマシテモ豫備金デモ出シマスガ、コツチカラ金ヲ送ツテ日本人ノ待遇ヲ好クシテ吳レト言ツテヤツテモ、決シテサウ云フコトハシナイトシテ見レバ金ハ取放シテ、却テ向フノ戰力増強ノ方ニデモ使ツテ、待遇ハ好クシナイト云フコトニナレバ、ドウモ困ル、向フハ同情ガ少イ爲ニ待遇ヲ好クシナイトノデモ、尙ホ財產等ノ損害ニ對シマシテハ、ヒマス、尙ホ財產等ノ損害ニ對シマシテハ、實ハ先刻申上ダマシタガ、此ノ損害ニ對シテハ今金錢ヲ交付シマシテモ何トモナリマセヌシ、是ハ戰後能ク調査致シマシテ遺憾ノナイヤウニ致シタイ、ソレハ結局敵國力ラ賠償ヲ取ルト云フコトニナリマスガ、ソレハ今敵產トシテ管理シテ居ルモノガ其レニハ今敵產トシテ管理シテ居ルモノガ其ノ結果決マルコトデアリマシテ、今申上ダルト云フコトニナツタノデスカ

○川崎(巳)委員 唯ノ羽毛ノ方ハ從來無稅ニ、從來單純ナ羽毛デアリマシタナラバ課税外デアリマス、併シ羽毛モ袋等ニ入リモノハ、取扱トシテ羽毛製品ト見做シテ課稅シテ居ツタノデゴザイマスカラ、其ノ間ノ差ハ大シテアリマセヌ

○川崎(巳)委員 當業者ガ非常ニ心配シテ居ル所ニ依リマスト、今綿モ「スフ」モ殆ド得難イ時ニ、是ハ綿ノ代用トシテ必要ナ品ダ、サウシテ是ハ雞ナドノ羽毛デナクシテ、市場ニ出シテ居ルノハ水禽ノ羽毛ダサウデゴザイマス、デアルカラ今マデソレヲ取ツタ爲ニ何處ガ困ルト云フノデハナイノダカラ、サウ云フ風ニナツタノデアリマスカ

○松隈政府委員 物品稅ニ於キマシテ羽根蒲團ハ羽毛製品ニナツテ居ル譯デアリマス、於テ羽根蒲團ヲ加ヘタノハ、ドウ云フ趣旨ヲ繼續願ヒマス——川崎君

第一種甲類ニ屬シマシテ、從來モ五割ノ課稅ニナツテ居ルノデアリマスガ、今回ハ第一種ノ中ノ稅率ガ八割ニ上リマシタ、隨テ羽根蒲團ニ對スル課稅モ五割ガ八割ニナツト云フ譯デアリマス、尙ホ今回ノ改正案ニ於キマシテ、「羽毛製品」ノ上ニ「羽毛」下云フノヲ加ヘテ居リマスガ是ハ羽根蒲團ノ形ニマデハシマセヌケレドモ、羽毛ヲ紙ノ袋等ニ包ンデ居リマシテ、ソレニ蔽ヒヲ掛ケルト大體羽根蒲團ニナルヤウナ恰好デ賣ツテ居リマス、今マデ取扱上サウ云フ羽毛製品ニ非常ニ近イモノハ羽毛製品ト見做シテ課稅シテ居リマシタガ、多少疑問モゴザイマスノデ、ソレヲ加ヘル意味ニ於テ今回羽毛ト云フモノヲ追加シテ居ル譯デアリマス

○川崎(巳)委員 唯ノ羽毛ノ方ハ從來無稅ニ、從來單純ナ羽毛デアリマシタナラバ課税外デアリマス、併シ羽毛モ袋等ニ入リモノハ、取扱トシテ羽毛製品ト見做シテ課稅ノナイヤウニ致シタガ、此ノ損害ニ對シテハ今金錢ヲ交付シマシテモ何トモナリマセヌシ、是ハ戰後能ク調査致シマシテ遺憾ノナイヤウニ致シタイ、ソレハ結局敵國力ラ賠償ヲ取ルト云フコトニナリマスガ、ソレハ今敵產トシテ管理シテ居ルモノガ其ノ結果決マルコトデアリマシテ、今申上ダルト云フコトニナツタノデスカ

○松隈政府委員 只今モ申上ダマシタヤウニ、從來單純ナ羽毛デアリマシタナラバ課税外デアリマス、併シ羽毛モ袋等ニ入リモノハ、取扱トシテ羽毛製品ト見做シテ課稅ノナイヤウニ致シタガ、此ノ損害ニ對シテハ今金錢ヲ交付シマシテモ何トモナリマセヌシ、是ハ戰後能ク調査致シマシテ遺憾ノナイヤウニ致シタイ、ソレハ結局敵國力ラ賠償ヲ取ルト云フコトニナリマスガ、ソレハ今敵產トシテ管理シテ居ルモノガ其ノ結果決マルコトデアリマシテ、今申上ダルト云フコトニナツタノデスカ

○川崎(巳)委員 只今モ申上ダマシタヤウニ、從來單純ナ羽毛デアリマシタナラバ課税外デアリマス、併シ羽毛モ袋等ニ入リモノハ、取扱トシテ羽毛製品ト見做シテ課稅ノナイヤウニ致シタガ、此ノ損害ニ對シテハ今金錢ヲ交付シマシテモ何トモナリマセヌシ、是ハ戰後能ク調査致シマシテ遺憾ノナイヤウニ致シタイ、ソレハ結局敵國力ラ賠償ヲ取ルト云フコトニナリマスガ、ソレハ今敵產トシテ管理シテ居ルモノガ其ノ結果決マルコトデアリマシテ、今申上ダルト云フコトニナツタノデスカ

○松隈政府委員 物品稅ノ課稅對象トシテ居ル所ニ依リマスト、今綿モ「スフ」モ殆ド得難イ時ニ、是ハ綿ノ代用トシテ必要ナ品ダ、サウシテ是ハ雞ナドノ羽毛デナクシテ、市場ニ出シテ居ルノハ水禽ノ羽毛ダサウデゴザイマス、デアルカラ今マデソレヲ取ツタ爲ニ何處ガ困ルト云フノデハナイノダカラ、サウ云フ風ニナツタノデアリマスカ

○松隈政府委員 羽毛製品又ハ羽毛ヲ用ヒタ製品ト致シマシテ、十七年ノ三月カラ八月マデノ六箇月分ノ課稅額ハ二十二万圓シタ羽毛ヲ袋ニ入レタト云フ程度ノモノト

ガ、之ニ對シテハドンナ風ニ御考ヘニナリマスカ

○松隈政府委員 物品稅ノ課稅對象トシテ居ル所ニ依リマスト、今綿モ「スフ」モ殆ド得難イ時ニ、是ハ綿ノ代用トシテ必要ナ品ダ、サウシテ是ハ雞ナドノ羽毛デナクシテ、市場ニ出シテ居ルノハ水禽ノ羽毛ダサウデゴザイマス、デアルカラ今マデソレヲ取ツタ爲ニ何處ガ困ルト云フノデハナイノダカラ、サウ云フ風ニナツタノデアリマスカ

○松隈政府委員 物品稅ノ課稅對象トシテ居ル所ニ依リマスト、今綿モ「スフ」モ殆ド得難イ時ニ、是ハ綿ノ代用トシテ必要ナ品ダ、サウシテ是ハ雞ナドノ羽毛デナクシテ、市場ニ出シテ居ルノハ水禽ノ羽毛ダサウデゴザイマス、デアルカラ今マデソレヲ取ツタ爲ニ何處ガ困ルト云フノデハナイノダカラ、サウ云フ風ニナツタノデアリマスカ

一緒ニ入ツテ居リマスノデ、羽毛ダケノ數字ハ一寸分リ兼ネマス、見込額ハ後程調べテ御答へ致シマス

○松村委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ御承知ノ通リニ午前中ダケデアリマスルノデ、尙ほ大臣ニ對スル質疑ノ通告者ガ一松君、坂本君カラ出テ居リマス、午前中デアリマスカラ質疑ノ通告ノ委員ハ遲滞ナク御出席下サランコトヲ特ニ御願ヒ致シテ置キマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後零時三分散會

昭和十八年一月七日印刷

昭和十八年一月八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局